

浜松市
北区

徳川家康公ゆかりの地マップ

仏坂の戦い

16 ふるんぼ様

至新城市

引佐町伊平

引佐町川

みたらいの井戸
信玄が目洗った

▲467
三岳城址

三ヶ日町～細江町寸座拡大図



「三方ヶ原の合戦と三方原」

三方原は、家康公の伝承も多く残り「三方ヶ原の合戦」を人生の教訓とした家康公ゆかりの地です。

「三方ヶ原の合戦」は「三方原墓園」に合戦の碑はありますが、場所が特定されていない不思議な合戦です。徳川・武田両軍が布陣した場所は、高柳光寿氏「祝田説」・鈴木千代松氏「大谷説」・陸軍参謀本部編「小豆餅説」があり、いずれの場所にも、当時の跡は残っていません。



井伊直政出世之地

おんころ様

船頭と轡淵

祝田坂への道・根洗松

三方原古戦場碑

大谷坂

精鎮塚跡

おんころ様跡

三方原神社

本乗寺 精鎮塚

信玄街道の碑

戦力比較

徳川軍

約8000人
徳川家康
本多忠勝
大久保忠世
榊原康政
酒井忠次
など

武田軍

約2万5000人
武田信玄
武田勝頼
小山田信茂
馬場信房
内藤昌豊
山縣昌景
など

織田援軍

約3000人
平手汎秀
佐久間信盛
など

■武田信玄三方原へ■

浜松城を目指していたと見せかけて突如ルートを変えて「宇藤坂」「大菩薩坂」「欠下坂」を上り三方原に入ったといわれる

細江町気賀拡大図
北区役所周辺



浜松西 I.C

戦力比較

徳川軍

約8000人
徳川家康
本多忠勝
大久保忠世
榊原康政
酒井忠次
など

武田軍

約2万5000人
武田信玄
武田勝頼
小山田信茂
馬場信房
内藤昌豊
山縣昌景
など

織田援軍

約3000人
平手汎秀
佐久間信盛
など

■武田信玄三方原へ■

浜松城を目指していたと見せかけて突如ルートを変えて「宇藤坂」「大菩薩坂」「欠下坂」を上り三方原に入ったといわれる



家康公ゆかりの地

ゆかりの地“見どころ”ガイド



①三方原古戦場碑 18代 徳川恒孝氏筆
■北区根洗町 三方原墓園駐車場敷地内



元龜3年(1572)12月22日の夕刻に始まった戦いは2時間弱で決着がつき、多数の死者・負傷者を出した徳川軍は浜松城に逃げ帰った。現在、三方原墓園に碑があるが、主戦場は家康の陣(精鎮塚跡)、信玄の陣(おんころ様)があった姫街道を中心に戦ったといわれる。(大谷説)

浜松駅よりバスで40分 奥山行き15番線
三方原墓園下車 浜松西ICから20分

②精鎮塚 本乗寺 徳川の本陣!?
■北区三方原町637

三方ヶ原合戦の戦死者を葬った「精鎮塚」は、徳川の本陣の場所と伝えられ「権七」近くにあった。現在は、三方原の一番古い寺「本乗寺」の境内に移された。(大谷説)



浜松駅よりバスで35分 奥山行き15番線
三方原下車 徒歩2分 浜松西ICから15分

③三方原神社 徳川家ゆかりの神社
■北区三方原町562



大正11年(1922)浜松城内に祀られていた東照宮(元城神社)を迎え、村の神社とし、昭和31年に三方原神社と改めた。家康・秀忠・家光が合祀されている。

浜松駅よりバスで35分 奥山行き15番線
三方原下車 徒歩5分 浜松西ICから15分

④権現様跡 お宮跡
■中区葵東2丁目12

明治の初め、この地に入植した幕臣たちが徳川家康を祭神とした。



浜松駅よりバスで30分 奥山行き15番線
追分下車 浜松西ICから15分 Pなし

⑤信玄街道碑
■初生小学校より南 200m

有玉西町付近の欠下坂から三方原台地へ上がり、追分方面に向かう道で今も残る。



浜松駅よりバスで30分 医大行き13番線
長池下車徒歩10分 浜松西ICから20分 Pなし

⑥気賀関所と気賀宿 旧関所は街中にある
■北区細江町気賀4577

気賀宿は、北に土塁、南は堀川、東に関所と葦垣、西は石垣と矢来と枳形があり、その中に本陣、問屋場、旅籠をはじめ民家約百軒が町並みをつくっていた。気賀関所は気賀宿の東の入り口にあり、慶長6年(1601)徳川家康により、姫街道往來の取り締まりのために設けられた。



浜松駅よりバスで50分 気賀行き15番線
気賀下車 徒歩3分 浜松西ICから20分

⑦堀川城跡 堀川城の戦い舞台
■細江警察署西300m



家康の遠州侵攻を防ごうと、気賀の人々は堀川城を造り戦った。家康は永禄12年(1569)3月27日堀川城に攻め入った。男も女も戦える者2000人が城を守ったが、あえなく落城した。この戦いで1000人が亡くなり700人が捕虜となった。

浜松駅よりバスで50分 気賀行き15番線
気賀下車 徒歩10分 浜松西ICから20分

⑧獄門巖 700人処刑の場所
■北区細江町気賀 呉石バス停前

永禄12年(1569)9月9日気賀宿西の呉石で堀川城で捕虜となった住職や住民700人が処刑された。その首を小川に沿った土手にさらしたので「ごくもんなわて」といわれている。堀川城の戦いの6ヶ月後のことである。

浜松駅よりバスで50分 三ヶ日行き15番線
呉石下車 浜松西ICから20分 Pなし

⑨おんころ様(中川寺) 信玄の陣の跡か!?
■北区細江町中川2670-1 中川幼稚園隣



武田方の本陣近くにあった「おんころ様」は、その痕跡もなくなってしまった。この、おんころ様と呼ばれた塔の一部が、細江町の都田川沿いにある中川寺の境内に移されている。(大谷説)

浜松駅よりバスで50分 奥山行き15番線
祝田下車 徒歩20分 浜松西ICから20分

⑩船頭と轡淵 家康ゆかりの地名
■田米寺橋 南交差点より東300m



都田川を渡れずに困っていた家康は、舟で農作業に来ていた農夫を見つけ「おい、舟で向こう岸まで渡してくれ」と頼むと、農夫はすぐに向こう岸まで渡した。今もこの地を「船頭」と呼ぶ。再度お礼で家康が訪れたとき、川の淵で馬の轡を洗ったことで「轡淵」といわれる。

浜松駅よりバスで50分 奥山行き15番線
祝田下車 徒歩10分 浜松西ICから20分 Pなし

⑪目通り八丁 三方原台地から下りた所、松崎
■細江大橋 東交差点より北500m

堀川城を攻める時、家康は堀川城の様子を見ようとして敵に見つかり、一軒の老婆の家に助けを求めた。家康は大かまどの中に隠れ、敵から逃れた。その褒美に目通り八丁の土地を与えたという。



浜松駅よりバスで50分 気賀行き15番線
気賀下車 徒歩30分 浜松西ICから20分

⑫寸座の石 石に座ることができる
■天浜線の寸座駅にある

家康が堀川城を攻略し、対岸の堀江(館山寺周辺)に渡るために、この石にすこし座ったことから「寸座」と呼ばれるようになった。



浜松駅よりバスで60分 三ヶ日行き15番線
天竜浜名湖鉄道寸座駅 三ヶ日ICから15分

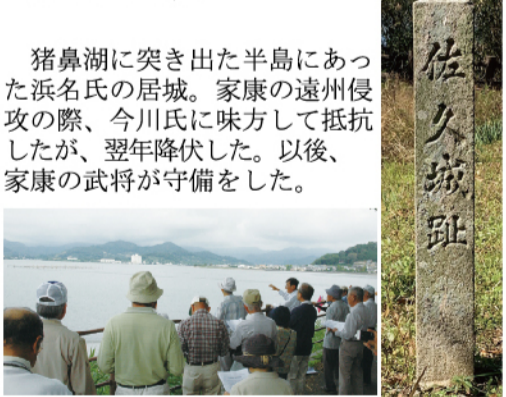
⑬犬くぐり道 農民の抜け道(一部通行可)
■細江神社北側



関所は地元の人でさえ通行手形が必要で、夕方6時～朝6時まで門が閉じられ、農民たちは大変不便だった。そこで「犬くぐり」と呼ばれる抜け道が設けられ、人は犬として通ることが黙認された。

浜松駅よりバスで50分 奥山行き15番線
片町下車徒歩3分 浜松西ICから20分

⑭佐久城跡 無血開城の城
■北区三ヶ日町都筑



猪鼻湖に突き出した半島にあった浜名氏の居城。家康の遠州侵攻の際、今川氏に味方して抵抗したが、翌年降伏した。以後、家康の武将が守備をした。

天竜浜名湖鉄道都筑駅より徒歩45分

⑮野地城跡 戦国末期の湖岸の城
■北区三ヶ日町都筑 浜名湖自転車周遊道路沿い



天正11年(1583)家康の命令によって築かれ100年現存した。武将本多信勝等が築城し約100年にわたり存続した。

天竜浜名湖鉄道都筑駅より徒歩20分
車では行けない。

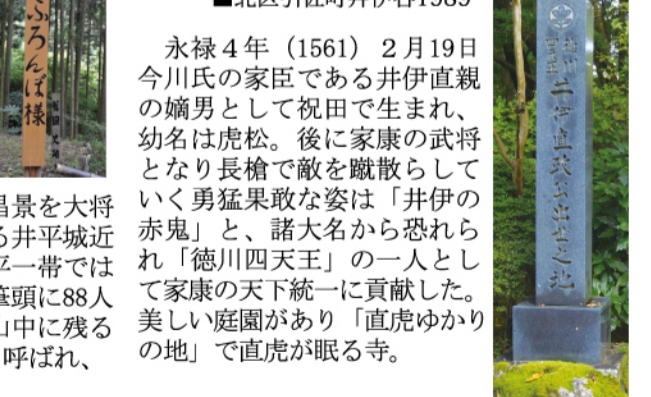
⑯仏坂の戦い 三方ヶ原の合戦の前哨戦
■北区引佐町伊平



三方ヶ原の合戦の2ヶ月前、山縣昌景を大将とする武田の大軍が井伊の支城である井平城近くの仏坂に迫ってきた。仏坂から伊平一帯では激しい戦いがあり、城主井伊直成を筆頭に88人の戦死者を出したといわれている。山中に残る供養塔は「ふろんぼ様(古いお墓)」と呼ばれ、今も毎年慰霊祭が行われている。

浜松市地域遺産センターより車で10分
浜松西ICから50分 仏坂の案内あり

⑰井伊直政 出世之地 龍潭寺
■北区引佐町井伊谷1989



永禄4年(1561)2月19日今川氏の家臣である井伊直親の嫡男として祝田で生まれ、幼名は虎松。後に家康の武将となり長槍で敵を蹴散らしていく勇猛果敢な姿は「井伊の赤鬼」と、諸大名から恐れられ「徳川四天王」の一人として家康の天下統一に貢献した。美しい庭園があり「直虎ゆかりの地」で直虎が眠る寺。

浜松駅よりバスで50分 奥山行き15番線
神宮寺下車徒歩5分 浜松西ICから20分

⑱祝田坂への旧道の碑 ⑲根洗松

武田の大軍が三方原から刑部へ下る道は幾つかあり、当時の雰囲気が残る道。山道だが少人数のグループで散策できる。

この松は、大谷川上流にあったが大雨で根元が洗い流され、3m近くも根が露出していた。三方原の戦いの時、武田軍はこの松に物見の兵を登らせて、南に陣を張った徳川方の様子を報告させたといわれる。(祝田説)

浜松駅よりバスで50分 奥山行き15番線
根洗下車 徒歩2分 浜松西ICから20分



■説明文の作成参考資料
三方原歴史保存会の説明板
浜松市の説明板
旧細江町切り絵の案内板
発行元:浜松市北区役所 区振興課
制作:浜松北地域まちづくり協議会
監修:小和田 泰経氏
令和4年12月発行